

木に親しむ・触れる 「キノピー教室」 開催

和歌山県主催の「キノピー教室」が、有田川町内の保育所・保育園で開催されました。

木の妖精「キノピー」をテーマにした紙芝居「森ができるまで」を読み聞かせてもらい、森林の仕組みや自然の大切さを教わりました。読み聞かせの後は、キノピーが登場し、園児たちと一緒に記念撮影。園児たちは「キノピーや〜!」「可愛い!」と声をあげて大喜びでした。

その後は、清水地域のヒノキの木片を使い、自分たちの手でサイコロを作りました。作った後は、サイコロを転がし、カランコロンと鳴る木の音を楽しみました。自分たちで作ったものを使っていくことで、ものを大切にする心が育まれることを願います。



「キノピー教室」の様子（第2保育所）

ありだ 「有田みかん」を子どもたちへ みかんを寄贈賜りました

食育運動の推進に伴う「地産地消」活動の一環として、農業士会・4日クラブ会員から丹精込めて作り上げた温州みかんを寄贈賜りました。将来の有田川町を担う子どもたちが農業への関心を持ち、全国ブランドを誇る「有田みかん」に対する理解を深めていただくことを目的とし、毎年実施されています。

今年度は令和3年（2021年）11月18日（木）に、給食センターで「温州みかん贈呈式」が行われました。寄贈いただいたみかんは町内の保育所、小・中学校の児童・生徒に届けられ、子どもたちからは「甘くておいしい!」と歓声が上がりました。



御霊小学校1年生 給食の時間の様子



給食センターで「温州みかん贈呈式」